

# コミュニティだより

発行 登米市吉田公民館 TEL:0220-55-2124  
(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会) FAX:0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会

## 平筒沼浮棧橋の修繕工事開始

一昨年の4月から通行止めとなっていた平筒沼のふれあい橋（浮棧橋）の修繕工事が始まりました。登米市が発注し、町内の浅野工務店が請負い、工期は来年3月19日まで、工事費は1億4千万円とのこと。工事に伴い浮棧橋前の駐車場は閉鎖されて工事ヤードになります。遊歩道も工事区域内は迂回していただきますので、ご協力をお願いします。来年のサクラは浮棧橋から見渡すことができます。お楽しみにお待ちください。



## 吉田陶芸教室 第2回学習会（9月26日）



東和焼瑞樹窯の笠政彦先生を講師に迎え、学習会を開催。6名の学級生が参加。思い思いの作品作りに挑戦しました。回数をこなしてもなかなかうまくいかないくろの使い方に苦戦しながら、夢中で作品作りをしていました。11月5日開催のよねやま文化祭に学級生の皆さんの力作が展示されます。他にも、キッズサークルの楽級生が作った木製小物入れや女性サークルの皆さんが作った一閑張り（いっかんばり）の作品が展示されます。ぜひ会場に足を運んでみてください。

## ホームメイドクッキング 第3回学習会（9月28日）



11名の学級生が、栄養士の上野由美子先生に教えていただきながら、さばのピネガー炒めや、さつまいもと枝豆のヨーグルトサラダなど旬の食材を使って、骨粗鬆症予防や減塩について考えられた料理5品を作りました。学級生からは、「家族に食べてもらったら、普段作っている料理とは一味違って、美味しい！と喜んで食べてくれました。今回の料理も家族に食べてもらうのが楽しみです。」と普段とは違ったメニューの数々に皆さん楽しみに学習会に参加しているようです。

## この指とまれ！ 第3回学習会「移動研修会」（10月1日）



コロナウイルスの感染拡大や、大雨の影響などで3年連続移動研修会が中止となってきましたが、今年度は開催することが出来ました。学級生と学級生のお子さんが親子で参加し、総勢23名で、気仙沼本吉にあるモーランドに行き、アイスクリーム作り体験や、動物と触れ合い、楽しい一時を過ごしてきました。参加者からは、「やっと移動研修に行くことができて楽しかったです。」「親子で参加できるので参加しやすく、そこが魅力的です。」と好評でした。

## 旧善王寺小学校開校150周年記念事業 タイムカプセル開封式（10月8日）

平成5年度、善王寺小学校は開校120周年を迎えていました。当時の千葉校長先生は記念事業として開校150周年に開けるタイムカプセルの埋納を提案し、校長はじめ先生方、児童、PTAの皆さんが一丸となって、タイムカプセルをつくり、30年後にみんな揃って開封することを約束して、校庭のど真ん中に埋納したそうです。

あれから30年。善王寺小学校は廃校となったものの、当時の6年生は現在42歳の働き盛りに成長し、30年前の約束を守るために地元に残る仲間が集まり「あいずすっぺ、こいずもいいな、おらだすだけでねぐ、下の学年にも声かけっぺ」とコロナにもめげずに口角泡を飛ばしての大議論。みんな地元に残る“おだすもっこ”の面々、話は盛り上がり、地域の方々や多くの世代を巻き込んで、旧善王寺小学校開校150周年事業実行委員会を組織して、善王寺地区が一丸となった一大イベントを開催することになり、そのメイン行事がタイムカプセル開封式でした。

10月8日、秋晴れの下、善王寺コミュニティセンターには、当時の小学生や恩師先生も多数ご出席、残念ながら校長先生は他界されておられたとのことですが、タイムカプセルの中身を取り出しては童心に帰って大騒ぎ。記念式典には登米市の小野寺教育長（元米山中学校教諭）や小野寺衆議院議員をはじめ来賓の皆様も多数ご出席されて、賑やかに、和やかに行われました。

屋外では、特設ステージで歌やバンドのステージショー、焼き鳥やかき氷などの屋台が並び、ジュースやビールも販売され、150キロの豚肉でつくった豚汁の無料配布などもあって、約500人が来場され、笑い声が響き渡った一日で、成功裡に終わりました。

学校を核とした世代を超えたコミュニティ活動の最たる形のイベントで、素晴らしい地域おこし事業でした。ご苦労様でした。

善王寺コミュニティセンターに開封したタイムカプセル、ポスター、スナップ写真を展示しています。ぜひお立ち寄りください。



## コミュニティ運動会中止

酷暑の影響で10月15日に延期していたコミュニティ運動会を降雨のため中止しました。コロナ禍で3年間中止し、今年こそと期待していましたが残念な結果になりました。

好天の前々日に準備万態整えたものの、15日の天気予報は雨、しかも午前9時ころから降り出すとの予報でしたので、14日午後4時半に役員が集まって協議し、中止を決定しました。すぐに各行政区や関係者に連絡しました。区長さん方は15日早朝から片付け作業に従事していただきました。来年度こそ5年ぶりに開催できればと願います。



## 吉田先人大学 第3回学習会「移動研修会」(10月18日)

絶好のお天気に恵まれた10月18日、年に一度の移動研修会は30名が参加して白石市白石城、丸森町斎理屋敷を見学し、道の駅角田を回ってきました。白石城では専門のガイドさんから「伊達政宗が白石城を股肱の臣・片倉小十郎に与え、以後、明治維新まで260余年の間、片倉氏の居城となった。」などと説明を聞き、汗をかきながら急な階段を懸命に上り、天守閣の最上階からの眺めは素晴らしいものでした。昼食は定休日だったうーめん店を特別に開けてもらい、JRの最高級列車「四季島」のメニューに採用された種類のたれを使った手打ちうーめんを堪能してきました。道の駅角田では持ちきれないほどお土産を買った学級生もおりました。

余談ですが、吉田地区は白石と浅からぬ縁があります。江戸時代に吉田地区を知行していた登米伊達家の先祖は奥州藤原氏のころから刈田郡を領していた刈田氏、鎌倉時代から白石氏を名乗り、戦国時代に伊達家の家臣となり、江戸時代に政宗から伊達の名前を賜り伊達氏を名乗りました。登米伊達家は白石の名前を残すために、米岡に白石家を家臣65名、西野・桜岡・森を知行地に3,000石で再興し、長源寺を造営し菩提寺としました。しかし、米岡白石家は40年で断絶しました。平成7年に白石城が再建されたとき、長源寺のご住職をはじめ白石家ゆかりの方々が白石城を見学されたことが報道されていました。



## 吉田地区地域づくり計画策定委員会第4回全体会議(10月20日)



10月20日に第4回会議を行いました。今回は住民アンケートの結果についての報告とアンケート結果に基づく地域課題についてワークショップ形式で話し合いました。8月に実施したアンケートにご協力いただき改めて感謝申し上げます。お陰様で回収率が41.7%、回収枚数は674枚でした。今後、分析レポート概要版を作成して全世帯に配布する予定です。



喫緊の課題としたデマンド型乗合タクシーの必要かとの問いについては、48%の方が「どちらともいえない」、5%強の方が無回答と半数を超える方々が判断を留保されました。また、公民館の米山東小学校への移転は、56%の方が「賛成」と回答されました。この2件については策定委員会とは別にコミュニティ運営協議会の理事会等で検討してまいります。

## 歴史講座「温故知新」第4回学習会 in とよま(10月26日)

11月13日に登米伊達家第16代当主伊達宗弘氏を迎えて開催する米山地区3公民館合同歴史講演会の予習の意味合いを込めて、江戸時代から近郷の新田開発と北上川の水運で栄えた城下町「とよま」を26日に講座生18名が参加して勉強してきました。

とよま振興公社の社長で学芸員の鎌田さんがガイドしてくださり、登米伊達家第4代宗倫公の天山公廟では、現当主の伊達宗弘さんからご説明をいただきました。普段見ることのできない御廟の中も拝見させていただきました。また、江戸時代の武家屋敷鈴木家旧宅である春蘭亭では抹茶で一服しながらタイムスリップした感じでした。新しくなった登米懐古館や教育資料館、水沢県庁記念館と内容の濃い学習会でした。

11月13日(月)午後1時から伊達宗弘氏の講演会を中津山公民館で行います。演題は「登米伊達家900年の歴史絵巻」です。この機会にぜひお聴きください。事前登録制ですので公民館にご連絡ください。



## 館長の戯言(ざれごと) No. 24 「ほにお・ほによ・ほんによ」参考図書：とうほく方言の泉参照

小学生のころから、秋の刈り入れ時になると田んぼに連れていかれて「ほによどり」を手伝わされていました。仕事を手伝いながら「ほにお」とは田んぼに仁王立ちしている「穂仁王」だとずっと思っていました。

出来秋の今、調べてみると、江戸末期の仙台方言集『浜萩』に「によ 稲をつみかさねたるところ いなによとも」とあるとのこと。さらに国語辞典には「にお【堆】稲などの穀物を刈り取ったあと、田畑にそのまま円錐形に積み上げたもの」とあり、平安時代から使われているとのことでした。単なる「にお」だけでなく、稲穂の穂に堆(にお)で「ほにお」なんともすばらしい方言です。

昭和61年の鹿島台の大洪水で被害を受けた品井沼干拓地では、秋になっても広い田んぼに一本も「ほにお」が立っていませんでした。何か異様な景色を見たという記憶があります。今ではその光景が当たり前で「ほにお」は死語と化しました。栗原市のマスコット「ねじりほんによ」に頑張ってもらいましょう。